

□要請番号 (JL63022B04)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
モザンビーク	A101 コミュニティ開発	20~45 歳のみ	個別	交替 3代目	2年	・2023/4・2024/1



【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

外務・協力省

2) 配属機関名 (日本語)

国際連合世界食糧計画モザンビーク事務所

3) 任地 (マプト市) JICA事務所の所在地 (マプト市)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (徒歩で約0.0時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

国連機関である世界食糧計画(以下WFP)モザンビーク事務所は、1977年に設立され、飢餓の減少、食糧安全保障、栄養改善に取り組んでいる。モザンビークでは、2019年のサイクロン・イダイをはじめとする自然災害や干ばつが頻発しており、WFPは被災地域での栄養強化食品の配布や、同国北部での紛争・治安悪化による避難民に対しての食料支援等を行っている。また、農家の生産性を向上させ、生産量を増やし、干ばつ、洪水及びその他の災害に対する適応能力を向上させる、持続可能な食料生産システムの確保及び、強靭(レジリエント)な農業支援にも取り組んでいる。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

WFPモザンビークでは、農作物の生産性向上による生産量増加、持続可能な食料生産システムを確保できるよう、小規模農家の支援を行っており、推定30%と見積もられている収穫時・収穫後ロスの改善に取り組んでいる。また、女性農家の所得向上、子供たちの栄養改善、必要なサービスや市場への平等なアクセスの確保が課題であるとし、WFPは農業・農村開発省及び地方組織と共にこれらの支援に取り組んでおり、このような状況の中、草の根レベルで活動ができる隊員の要請がなされた。2022年3月からJICA海外協力隊1名(コミュニティ開発)が活動中である。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

WFPチームメンバー、農村開発省傘下の州及び郡の機関と協力し以下の活動をする。

- より効率的なマーケットへのアクセス、持続可能な食糧の取り扱い方法、バランスのとれた食糧消費パターンについての調査及び評価・モニタリングを行う。
- 1.の課題解決への提言や、ボランティアの業務範囲内で、各地から集まるデータの分析も期待されている。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

パソコン、フィールド調査時の携帯電話、机、椅子、プリンター、スキャナーなど。

4) 配属先同僚及び活動対象者

【配属先同僚】

所長:女性 40代、副所長:男性 40代

主たるチームメンバー 5名 20-30代

【活動対象者】

対象地域・対象者は派遣後に配属先と話し合って決める。

5) 活動使用言語

英語

6) 生活使用言語

ポルトガル語

7) 選考指定言語

英語(レベル:B)

【資格条件等】

[免許/資格等] : ()

[学歴] : (修士) 備考 : 同僚と同等の学歴が必要なため

[性別] : () 備考 :

[経験] : () 備考 :

[汎用経験] :

- ・フィールドワーク（現地調査、研究）経験
- ・食生活改善や栄養に関する知識や経験

[参考情報] :

- ・プロジェクト運営経験(なるべく)

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候] : (サバナ気候) 気温 : (10~35°C位)

[電気] : (安定)

[通信] : (インターネット可 電話可)

[水源] : (安定)

【特記事項】

モザンビークの公用語はポルトガル語であるが、国連機関に配属となることから、機関内での業務(報告書やミーティング)では英語が必須である。

【類似職種】